

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-133271

(43)Date of publication of application : 10.05.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60
G06F 13/00
G06F 17/30

(21)Application number : 2000-325404

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 25.10.2000

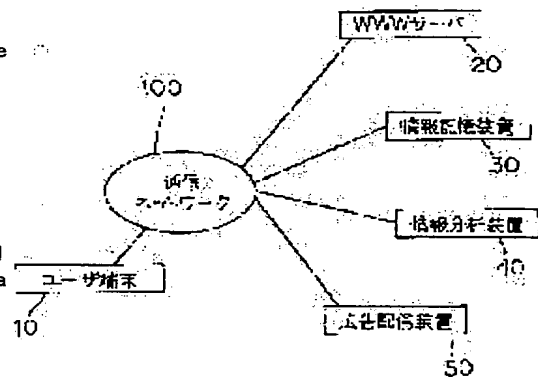
(72)Inventor : MINAMI SHIGEKI

(54) AUTOMATIC ADVERTISEMENT DISTRIBUTING SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To automatically distribute user-oriented advertisement information to users without complicated processing and without making the users conscious.

SOLUTION: When an application service, which is provided by a WWW server 20, is used at a user terminal 10, electronic information inputted accompanying the usage of the application service is stored into an information storage device 30. Subsequently, fields, which are related to the electronic information stored in the information storage device 30, are analyzed at an information analyzer 40, and then advertisement information related to the fields, which are analyzed at the information analyzer 40, is distributed to the WWW server 20 through an advertisement distributor 50. When an access to the WWW server 20 has occurred at the user terminal 10, the advertisement information, which is distributed from the advertisement distributor 50, is transmitted to the user terminal 10. In addition, advertisement information related to the fields, which are analyzed at the information analyzer 40, is also distributed to the user terminal 10 via e-mail.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 19.09.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-133271

(P2002-133271A)

(43)公開日 平成14年5月10日(2002.5.10)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームト* (参考)	
G 0 6 F 17/60	3 2 6	G 0 6 F 17/60	3 2 6	5 B 0 4 9
	Z E C		Z E C	5 B 0 7 5
	5 0 2		5 0 2	
13/00	5 4 0	13/00	5 4 0 P	
17/30	1 1 0	17/30	1 1 0 F	
審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 8 頁) 最終頁に続く				

(21)出願番号 特願2000-325404(P2000-325404)

(22)出願日 平成12年10月25日(2000.10.25)

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 南 茂樹

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

(74)代理人 100088328

弁理士 金田 暢之 (外2名)

Fターム(参考) 5B049 AA06 BB49 EE05 GG00 GG09

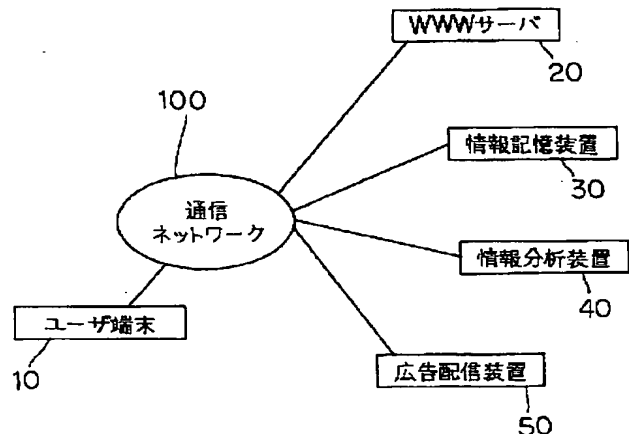
5B075 ND20 PQ02 PQ05 PR04 UU24

(54)【発明の名称】 広告自動配信システム

(57)【要約】

【課題】 複雑な処理を行うことなく、かつ、ユーザに意識させることなくユーザの嗜好に合った広告情報をユーザに自動配信する。

【解決手段】 ユーザ端末10にて、WWWサーバ20が提供するアプリケーションサービスが利用された場合、該アプリケーションサービスの利用に伴って入力された電子情報を情報記憶装置30に格納し、情報分析装置40において、情報記憶装置30に格納された電子情報に関連する分野を分析し、広告配信装置50において、情報分析装置40にて分析された分野に関連する広告情報をWWWサーバ20に配信する。その後、ユーザ端末10からWWWサーバ20にアクセスがあった場合、広告配信装置50から配信された広告情報をユーザ端末10に送信する。また、広告配信装置50において、情報分析装置40にて分析された分野に関連する広告情報をユーザ端末10に電子メールにて配信する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ネットワークに接続可能なユーザ端末と、所定のアプリケーションサービスを前記ユーザ端末に前記ネットワークを介して提供するサーバとを有し、前記サーバから前記ユーザ端末に対して広告情報を自動配信する広告自動配信システムにおいて、前記ユーザ端末にて前記アプリケーションサービスが利用された場合に該アプリケーションサービスの利用に伴い入力された電子情報を格納する情報記憶装置と、前記情報記憶装置に格納された電子情報に関連する分野を分析する情報分析装置と、前記情報分析装置にて分析された分野に関連する広告情報を前記サーバに配信する広告配信装置とを有し、前記サーバは、前記ユーザ端末からアクセスがあった場合、前記広告配信装置から配信された広告情報を前記ユーザ端末に送信することを特徴とする広告自動配信システム。

【請求項 2】 ネットワークに接続可能なユーザ端末と、所定のアプリケーションサービスを前記ユーザ端末に前記ネットワークを介して提供するサーバとを有し、前記ユーザ端末に対して広告情報を自動配信する広告自動配信システムであって、前記ユーザ端末にて前記アプリケーションサービスが利用された場合に該アプリケーションサービスの利用に伴い入力された電子情報を格納する情報記憶装置と、前記情報記憶装置に格納された電子情報に関連する分野を分析する情報分析装置と、前記情報分析装置にて分析された分野に関連する広告情報を前記ユーザ端末に電子メールにて配信する広告配信装置とを有することを特徴とする広告自動配信システム。

【請求項 3】 ネットワークに接続可能なユーザ端末と、前記ユーザ端末に対する電子メールの送受信機能を具備するサーバとを有し、前記サーバから前記ユーザ端末に対して広告情報を自動配信する広告自動配信システムにおいて、前記ユーザ端末にて電子メールが送受信された場合に該電子メールに含まれる電子情報を格納する情報記憶装置と、前記情報記憶装置に格納された電子情報に関連する分野を分析する情報分析装置と、前記情報分析装置にて分析された分野に関連する広告情報を前記サーバに配信する広告配信装置とを有し、前記サーバは、前記ユーザ端末からアクセスがあった場合、前記広告配信装置から配信された広告情報を前記ユーザ端末に送信することを特徴とする広告自動配信システム。

【請求項 4】 ネットワークに接続可能なユーザ端末と、前記ユーザ端末に対する電子メールの送受信機能を具備するサーバとを有し、前記ユーザ端末に対して広告

2

情報を自動配信する広告自動配信システムであって、前記ユーザ端末にて電子メールが送受信された場合に該電子メールに含まれる電子情報を格納する情報記憶装置と、前記情報記憶装置に格納された電子情報に関連する分野を分析する情報分析装置と、前記情報分析装置にて分析された分野に関連する広告情報を前記ユーザ端末に電子メールにて配信する広告配信装置とを有することを特徴とする広告自動配信システム。

【請求項 5】 請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の広告自動配信システムにおいて、前記情報分析装置は、前記情報記憶装置に格納された電子情報に含まれる単語の頻出度に基づいて、当該電子情報に関連する分野を分析することを特徴とする広告自動配信システム。

【請求項 6】 請求項 5 に記載の広告自動配信システムにおいて、

前記広告配信装置は、前記情報分析装置にて分析される分野毎に、配信すべき広告情報が予め格納されていることを特徴とする広告自動配信システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、通信ネットワークを介した広告自動配信システムに関し、特に、ユーザに意識させることなくユーザの嗜好情報を収集し、収集したユーザの嗜好情報に基づいて広告を自動配信する広告自動配信システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、インターネット等の通信ネットワークを介してユーザに広告情報を自動配信する広告自動配信システムにおいては、ユーザに対してアンケート等の調査を行い、該調査結果に基づいてユーザの嗜好情報を得て、得られた嗜好情報に関連する広告情報をユーザに自動配信している。

【0003】ところが、上述したような広告自動配信システムにおいては、ユーザの嗜好情報を得るためにわざわざアンケート等を作成しなければならず、システム構築側において手間とコストがかかってしまうと同時に、ユーザにおいては、アンケートに回答するという手間がかかってしまう。

【0004】そこで、特開 2000-57157 号公報に、WWWサーバを使用してユーザの動作を解析し、この解析結果に基づく広告情報をユーザに自動配信する広告自動配信システムが開示されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、特開 2000-57157 号公報に開示されたものにおいては、WEB 上におけるユーザの複雑な動作を解析しなければならず、システム構築側においてそのための複雑な

アプリケーションを用意しなければならないという問題点がある。

【0006】本発明は、上述したような従来の技術が有する問題点に鑑みてなされたものであって、複雑な処理を行うことなく、かつ、ユーザに意識させることなくユーザの嗜好に合った広告情報をユーザに自動配信することができる広告自動配信システムを提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために本発明は、ネットワークに接続可能なユーザ端末と、所定のアプリケーションサービスを前記ユーザ端末に前記ネットワークを介して提供するサーバとを有し、前記サーバから前記ユーザ端末に対して広告情報を自動配信する広告自動配信システムにおいて、前記ユーザ端末にて前記アプリケーションサービスが利用された場合に該アプリケーションサービスの利用に伴い入力された電子情報を格納する情報記憶装置と、前記情報記憶装置に格納された電子情報に関連する分野を分析する情報分析装置と、前記情報分析装置にて分析された分野に関連する広告情報を前記サーバに配信する広告配信装置とを有し、前記サーバは、前記ユーザ端末からアクセスがあった場合、前記広告配信装置から配信された広告情報を前記ユーザ端末に送信することを特徴とする。

【0008】また、ネットワークに接続可能なユーザ端末と、所定のアプリケーションサービスを前記ユーザ端末に前記ネットワークを介して提供するサーバとを有し、前記ユーザ端末に対して広告情報を自動配信する広告自動配信システムであって、前記ユーザ端末にて前記アプリケーションサービスが利用された場合に該アプリケーションサービスの利用に伴い入力された電子情報を格納する情報記憶装置と、前記情報記憶装置に格納された電子情報に関連する分野を分析する情報分析装置と、前記情報分析装置にて分析された分野に関連する広告情報を前記ユーザ端末に電子メールにて配信する広告配信装置とを有することを特徴とする。

【0009】また、ネットワークに接続可能なユーザ端末と、前記ユーザ端末に対する電子メールの送受信機能を具備するサーバとを有し、前記サーバから前記ユーザ端末に対して広告情報を自動配信する広告自動配信システムにおいて、前記ユーザ端末にて電子メールが送受信された場合に該電子メールに含まれる電子情報を格納する情報記憶装置と、前記情報記憶装置に格納された電子情報に関連する分野を分析する情報分析装置と、前記情報分析装置にて分析された分野に関連する広告情報を前記サーバに配信する広告配信装置とを有し、前記サーバは、前記ユーザ端末からアクセスがあった場合、前記広告配信装置から配信された広告情報を前記ユーザ端末に送信することを特徴とする。

【0010】また、ネットワークに接続可能なユーザ端

末と、前記ユーザ端末に対する電子メールの送受信機能を具備するサーバとを有し、前記ユーザ端末に対して広告情報を自動配信する広告自動配信システムであって、前記ユーザ端末にて電子メールが送受信された場合に該電子メールに含まれる電子情報を格納する情報記憶装置と、前記情報記憶装置に格納された電子情報に関連する分野を分析する情報分析装置と、前記情報分析装置にて分析された分野に関連する広告情報を前記ユーザ端末に電子メールにて配信する広告配信装置とを有することを特徴とする。

【0011】また、前記情報分析装置は、前記情報記憶装置に格納された電子情報に含まれる単語の頻出度に基づいて、当該電子情報に関連する分野を分析することを特徴とする。

【0012】また、前記広告配信装置は、前記情報分析装置にて分析される分野毎に、配信すべき広告情報が予め格納されていることを特徴とする。

【0013】（作用）上記のように構成された本発明においては、ユーザ端末にて、サーバが提供するアプリケーションサービスが利用された場合、該アプリケーションサービスの利用に伴って入力された電子情報が情報記憶装置に格納される。情報記憶装置に格納された電子情報は、情報分析装置において、その電子情報に含まれる単語の頻出度に基づいて、関連する分野が分析され、それにより、ユーザの嗜好分野が分析される。広告配信装置においては、分野毎に、ユーザ端末に配信すべき広告情報が格納されており、情報分析装置にて分析された分野に関連する広告情報がサーバに配信される。その後、ユーザ端末からサーバにアクセスがあった場合、広告配信装置から配信された広告情報がサーバからユーザ端末に送信される。また、広告配信装置において、情報分析装置にて分析された分野に関連する広告情報がユーザ端末に電子メールにて配信される。

【0014】また、ユーザ端末にて、サーバが具備する電子メールの送受信機能を利用して電子メールが送受信された場合、該電子メールに含まれる電子情報が情報記憶装置に格納される。情報記憶装置に格納された電子情報は、情報分析装置において、その電子情報に含まれる単語の頻出度に基づいて、関連する分野が分析され、それにより、ユーザの嗜好分野が分析される。広告配信装置においては、分野毎に、ユーザ端末に配信すべき広告情報が格納されており、情報分析装置にて分析された分野に関連する広告情報がサーバに配信される。その後、ユーザ端末からサーバにアクセスがあった場合、広告配信装置から配信された広告情報がサーバからユーザ端末に送信される。また、広告配信装置において、情報分析装置にて分析された分野に関連する広告情報がユーザ端末に電子メールにて配信される。

【0015】このように、サーバが提供するアプリケーションサービスを用いて入力された電子情報や電子メー

10

20

30

40

50

ルに含まれる電子情報を用いてユーザの嗜好分野が分析され、該分野に関連する広告情報がユーザ端末に配信されるので、複雑な処理を行うことなく、かつ、ユーザに意識させることなくユーザの嗜好に合った広告情報がユーザに自動配信される。

【0016】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【0017】図1は、本発明の広告自動配信システムの実施の一形態を示す図である。

【0018】本形態は図1に示すように、インターネット等の通信ネットワーク100に接続可能なパーソナルコンピュータ等の情報処理装置であるユーザ端末10と、通信ネットワーク100に接続され、通信ネットワーク100を介してユーザ端末10に対してWWW情報を無料で提供するWWWサーバ20と、通信ネットワーク100に接続可能に構成され、ユーザ端末10がWWWサーバ20から提供されたWWW情報を利用した場合にその操作に基づく電子情報が格納される情報記憶装置30と、情報記憶装置30に格納された電子情報に基づいてユーザの嗜好分野を分析する情報分析装置40と、情報分析装置40にて分析されたユーザの嗜好分野に関連する広告情報を通信ネットワーク100を介してWWWサーバ20またはユーザ端末10に配信する広告配信装置50とから構成されている。

【0019】なお、情報分析装置40においては、どのような嗜好分野にはどのような語彙群が良く使用されるか予め得られた試験結果が格納されている。

【0020】図2は、図1に示した情報分析装置40内に格納された情報を示す図であり、(a)は各分野に対する単語の使用頻出度が格納された表、(b)は(a)に示した表に基づいて分野毎に加算された得点結果が格納された表である。

【0021】図2に(a)に示すように、分野毎における単語の使用頻出度に応じて得点が予め与えられており、情報記憶装置30に格納された電子情報を定期的に走査して単語の頻出度を測定し、この頻出度に応じて得点が与えられる。与えられた得点は分野毎に加算されていき、図2(b)に示したような表が作成され、この表に基づいて、ユーザの嗜好分野を判定する。なお、分析開始時においては、図2(b)に示した表の得点欄は全て0であるものとする。

【0022】また、広告配信装置50においては、嗜好分野毎に配信すべき広告情報が格納されており、情報分析装置50における分析結果に基づいて、ユーザ端末10がWWWサーバ20にアクセスした際にWWWサーバ20からユーザ端末10に配信される情報の中に所定の広告情報を埋め込んだり、ユーザ端末10に対して通信ネットワーク100を介して定期的に電子メールを用いて所定の広告情報を配信する。

【0023】図3は、図1に示した広告配信装置50内に格納された情報を示す図であり、(a)は分野毎に配信すべき情報が格納された表、(b)はユーザ毎に配信すべき分野が格納された表である。

【0024】図3(a)に示すように、嗜好分野毎に配信すべき広告情報が格納されており、また、情報分析装置50における分析結果に基づいて、図3(b)に示すように、ユーザ端末10にどの分野の広告情報を配信するかが格納されている。

10 【0025】以下に、上記のように構成された広告自動配信システムにおける広告自動配信方法について複数の実施の形態を例に挙げて説明する。

【0026】(第1の実施の形態)図4は、図1に示した広告自動配信システムにおける広告自動配信方法の第1の実施の形態を説明するためのフローチャートである。

20 【0027】ユーザが、ユーザ端末10を用いてWWWサーバ20にアクセスすると(ステップA1)、WWWサーバ20からユーザ端末10に対して、通常のホームページを記述するWWW情報が送信される(ステップA2)。

【0028】ユーザ端末10においては、WWWサーバ20から送信されたWWW情報が適宜加工され、画面上に表示される(ステップA3)。

【0029】ここまでは、ユーザ端末10とWWWサーバ20との間における基本的な動作である。

30 【0030】その後、ユーザ端末10において、WWWサーバ20から提供されるアプリケーションサービスが使用され、電子情報を作成するための操作がネットワーク100を介して行われると(ステップA4)、WWWサーバ20上において電子情報が作成され、操作終了時に、作成された電子情報がWWWサーバ20から情報記憶装置30に対して送信される(ステップA5)。

【0031】ここで、WWWサーバ20から情報記憶装置30に対する電子情報の送信においては、例えば、WWWサーバ20から提供されるワープロソフトをユーザ端末10にて使用した場合、そのワープロソフト上にて作成された文書が電子情報として情報記憶装置30に対して送信されることになる。

40 【0032】WWWサーバ20から情報記憶装置30に送信された電子情報は、情報記憶装置30内に格納される(ステップA6)。

【0033】情報分析装置40においては、情報記憶装置30内に格納された電子情報が定期的に走査されて単語の頻出度が測定され、この頻出度に応じて図2(a)に示したような表が作成される(ステップA7)。

50 【0034】その後、図2(a)に示したような表にて与えられた得点が分野毎に加算されていき、図2(b)に示したような表が作成され、この表に基づいて、ユーザの嗜好分野が判定される(ステップA8)。

【0035】ここで、上述したステップA7、A8における処理について具体的に説明する。

【0036】図5は、図1に示した情報分析装置40における情報分析方法を説明するためのフローチャートである。

【0037】まず、情報分析装置40において、情報記憶装置30内に格納された電子情報が定期的に走査され、電子情報の一部が読み取られる(ステップB1)。

【0038】ステップB1にて読み取られた電子情報の中に、図2(a)に示した表に含まれる単語が存在する場合(ステップB2)、図2(a)に示した表に基づいてその単語の列の各分野の得点が読み取られ、図2(b)に示した表に加算される(ステップB3)。

【0039】情報記憶装置30に格納された全ての電子情報を走査し終わった場合(ステップB4)、図2(b)に示した表に基づいて、得点の高い順に分野がソートされる(ステップB5)。

【0040】得点が高い分野は、その分野への係わり合いの強い単語の出現頻度が高かったことを意味するので、その分野が広告配信装置50に通知される(ステップB6)。なお、広告配信装置50に通知される分野の数はひとつ以上である。

【0041】また、ステップB4にて全ての電子情報を走査し終わっていない場合は、ステップB1に戻り、残りの電子情報を走査し終わるまで、上述した処理が繰り返し行われる。

【0042】広告配信装置50においては、情報分析装置40からの通知に基づいて、図3(b)に示すように、各ユーザ毎に得点が高い分野がそれぞれ格納される(ステップA9)。

【0043】広告配信装置50においては、図3(b)に示した表に基づいてユーザに配信すべき広告情報の分野が決定され、図3(a)に示した表にて格納された広告情報が広告配信装置50からWWWサーバ20に対して送信される(ステップA10)。

【0044】その後、ユーザ端末10からWWWサーバ20にアクセスがあった際に(ステップA11)、広告配信装置50からWWWサーバ20に送信された広告情報がWWW情報に埋め込まれ、WWWサーバ20からユーザ端末10に対して送信される(ステップA12)。

【0045】また、広告配信装置50においては、図3(b)に示した表に基づいてユーザに決定された分野の広告情報が掲載された電子メールがユーザ端末10に対して送信され、(ステップA13)、広告配信装置50から送信された広告情報がユーザ端末10上に表示される(ステップA14)。なお、電子メールが広告配信装置50からユーザ端末10に直接送信される場合以外に、広告配信装置50からユーザ端末10が使用する電子メールサーバ(不図示)に電子メールが送信される場合も考えられる。

【0046】(第2の実施の形態)本形態は、WEBサーバ20が電子メールの送受信機能を有するメールサーバと連携しているか、またはWEBサーバ20自身が電子メールの送受信機能を有している点で第1の実施の形態に示したものと異なる。ここでは、WEBサーバ20自身が電子メールの送受信機能を有している場合について説明する。

【0047】したがって、ユーザ端末10は、WWWサーバ20上にて電子メールを送受信するための操作を行うための端末として動作する。

【0048】図6は、図1に示した広告自動配信システムにおける広告自動配信方法の第2の実施の形態を説明するためのフローチャートである。

【0049】ユーザが、ユーザ端末10を用いてWWWサーバ20にアクセスすると(ステップC1)、WWWサーバ20からユーザ端末10に対して、通常のホームページを記述するWWW情報が送信される(ステップC2)。

【0050】ユーザ端末10においては、WWWサーバ20から送信されたWWW情報が適宜加工され、画面上に表示される(ステップC3)。

【0051】その後、ユーザ端末10において、WWWサーバ20から提供される電子メール送受信サービスが使用され、電子メールを作成及び送信するための操作あるいは電子メールを受信するための操作がネットワーク100を介して行われると(ステップC4)、ユーザ端末10にて電子メールの送信の操作がされた場合は、WWWサーバ20において電子メールが送信され、また、電子メールの受信の操作がされた場合はWWWサーバ20において電子メールが受信される(ステップC5)。

【0052】一連の操作終了時に、送受信された電子メールが電子情報としてWWWサーバ20から情報記憶装置30に対して送信される(ステップC6)。

【0053】WWWサーバ20から情報記憶装置30に送信された電子情報は、情報記憶装置30内に格納される(ステップC7)。

【0054】以後の処理は、第1の実施の形態にて説明したものと同様であるので、ここでの説明は省略する。

【0055】

【発明の効果】以上説明したように本発明においては、サーバが提供するアプリケーションサービスを用いて入力された電子情報や電子メールに含まれる電子情報を用いてユーザの嗜好分野を分析し、該分野に関連する広告情報をユーザ端末に配信する構成としたため、複雑な処理を行うことなく、かつ、ユーザに意識させることなくユーザの嗜好に合った広告情報をユーザに提供することができる。

【0056】また、サーバが提供するアプリケーションサービスを用いて入力された電子情報や電子メールに含まれる電子情報を用いてユーザの嗜好分野を分析するた

め、ユーザのプライバシーを侵害することなくユーザの嗜好分野に関連する広告情報を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の広告自動配信システムの実施の一形態を示す図である。

【図 2】図 1 に示した情報分析装置内に格納された情報を示す図であり、(a) は各分野に対する単語の使用頻出度が格納された表、(b) は (a) に示した表に基づいて分野毎に加算された得点結果が格納された表である。

【図 3】図 1 に示した広告配信装置内に格納された情報を示す図であり、(a) は分野毎に配信すべき情報が格納された表、(b) はユーザ毎に配信すべき分野が格納された表である。

【図 4】図 1 に示した広告自動配信システムにおける広

告自動配信方法の第 1 の実施の形態を説明するためのフローチャートである。

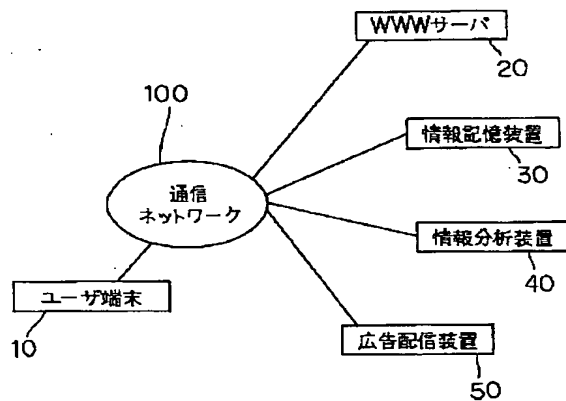
【図 5】図 1 に示した情報分析装置における情報分析方法を説明するためのフローチャートである。

【図 6】図 1 に示した広告自動配信システムにおける広告自動配信方法の第 2 の実施の形態を説明するためのフローチャートである。

【符号の説明】

- 10 ユーザ端末
- 20 WWWサーバ
- 30 情報記憶装置
- 40 情報分析装置
- 50 広告配信装置
- 100 通信ネットワーク

【図 1】



【図 2】

	分野 A	分野 B	分野 Z
単語 A	0 点	1 点		100 点
単語 B	30 点	10 点		
.....				
.....				
単語 Z	85 点	0 点		0 点

(a)

	分野 A	分野 B	分野 Z
得点	10 点	21 点		1 点

(b)

【図3】

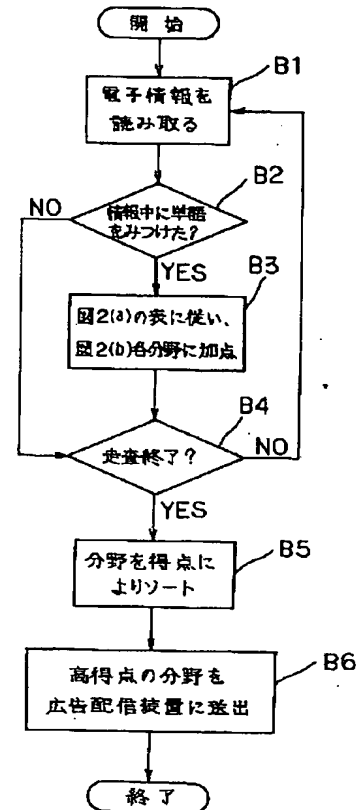
分野A	分野A用の広告の文面・図
分野B	分野B用の広告の文面・図
.....
分野Z	分野Z用の広告の文面・図

(a)

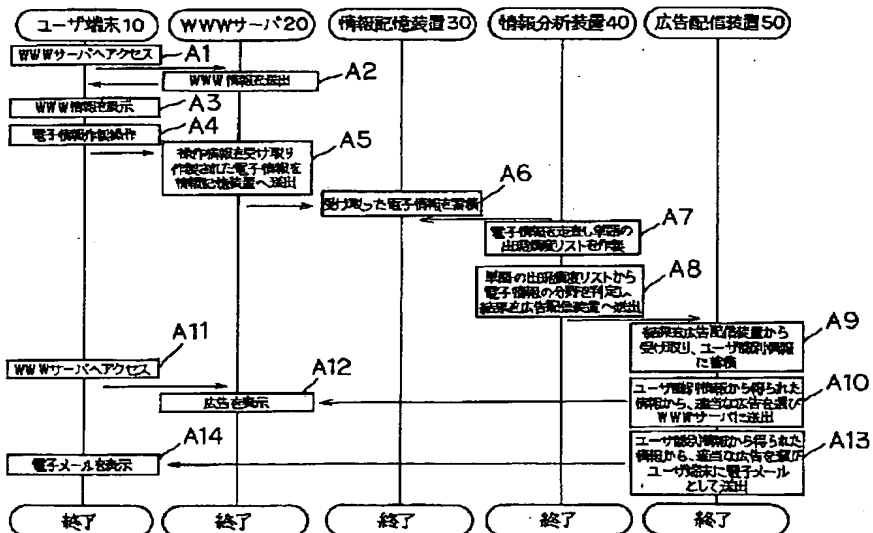
	ユーザA	ユーザB	ユーザZ
一次分野	C	A		Q
二次分野	K	O		T
三次分野	E	Z		V

(b)

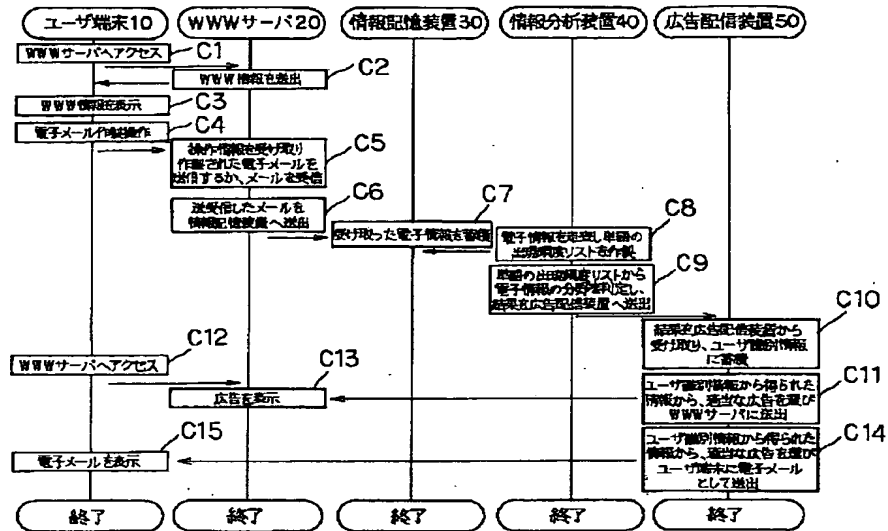
【図5】



【図4】



【図6】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷

G 0 6 F 17/30

識別記号

1 7 0

3 4 0

F I

G 0 6 F 17/30

テーマコード(参考)

1 7 0 Z

3 4 0 A